

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	アブソリュート・ベンド		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.440	△RG	0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

**テストボール : アブソリュート・ベンド**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ
- 研磨剤

番

**比較対照ボール : アブソリューション・エーユー**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

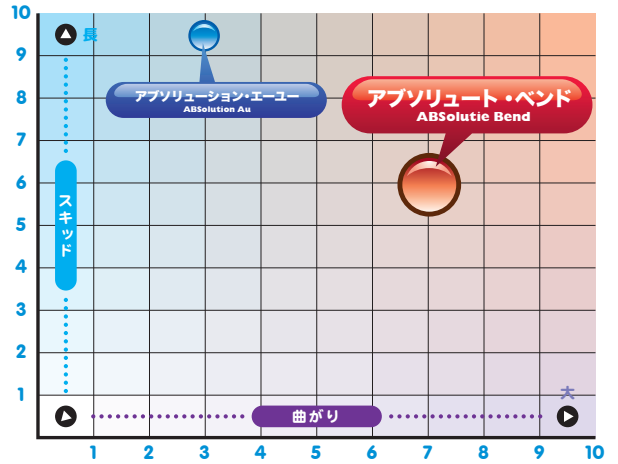
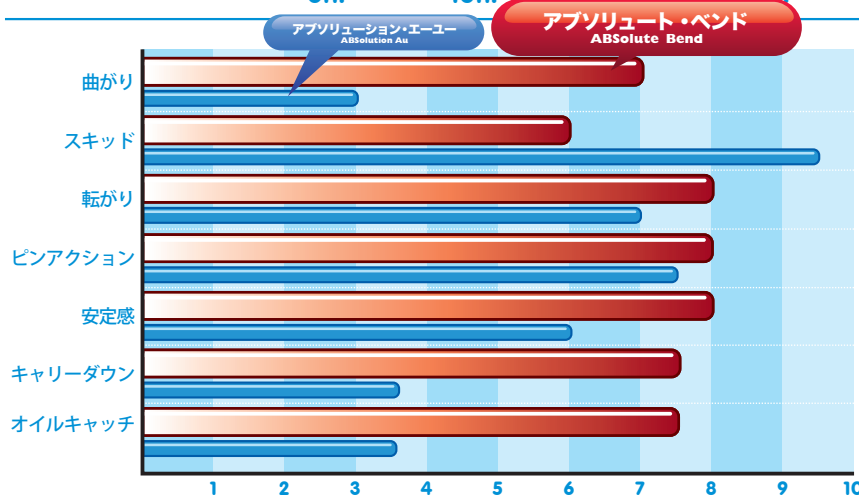
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ
- 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

アブソリューションは最小とも言える△RGを追求し、走りを重視したライトなコンディションでもスキッドを確保できる性能に拘りをもって作られてきました。

今回発表するアブソリュート・ベンドは全く正反対の粘りのあるカバーストックに△RGがリミッド限界値の0.060の高フレアタイプになります。今回あえて高フレアのアブソリュート・ベンドを発売する経緯は、ナノデスのAVEXカバーストックの生産拠点である日本エポナイト工場からAVEXとは異なった非常に粘りのあるカバーストックが抽出できたことを受け、そのカバーストックの特徴を生かすのであれば、今までのような最小の△RGを追及するのではなく、そのカバーストックを最大限に活かせるコアを求めるとの結論に至ったものであります。

今回採用されているカバーストックの特徴はドライゾーンで最大の摩擦係数を得られる「吸い付くような」独特の感じを得られるもので、コア形状から数値設定に至っては曲がりを得られるのと同時にミッドエリアでの安定感を出すための高フレア設定であり、その二つの融合こそがこのアブソリュート・ベンドに求めた「安定した曲がり始めからピンヒットまでの強さ」であります。レーンヘッドはスムーズに走り、その回転動力はミッドエリアからの強いリアクションへと変わり、高フレアタイプに見られる「ねじ切れる」感じは全くありません。

ドリルレイアウトはどのようなレイアウトでも対応できますが、高フレアタイプですのでエクストラホールはVALを超えないようご注意ください。

### 特記事項

**吸い付くようなカバーストックと高フレアタイプのコアとの融合。安定した曲がり始めからピンヒットまでの強さを感じられる絶品の仕上がります。**